



しばた議会だより



(第二たんぼ幼稚園)

バランス良く、バッチリ決まりました

- 平成25年度決算(9月会議) 2~3
- 総括質疑(4人) 4~5
- 決算審査特別委員会 5~7
- 9月補正予算、教育委員・人権擁護委員を選任 8
- 7月会議(臨時)・8月会議(臨時) 9
- 本会議の出欠状況・議案などの審議結果 10
- 一般質問(15人)・その他の質問 11~19
- 議会懇談会 20~22
 - 一般懇談会・柴田町ボランティア・NPO活動連絡会との団体懇談会
- 常任委員会レポート 23
- あなたの一言(入澤 裕樹さん) 24



育て整備に重点!

一般会計の歳出決算は
124億4,898万円

前年度比 10.5%減

9月会議

9月会議が、9月8日から19日までの日程で開催されました。

平成25年度の一般会計、各種特別会計及び水道事業会計の決算では、4人の総括質疑を行った後、決算審査特別委員会を設置し、詳細にわたり審議した結果、全ての会計を原案のとおり認定しました。

このほか、補正予算6件や人事案件2件（8ページ参照）などを原案のとおり可決、同意しました。

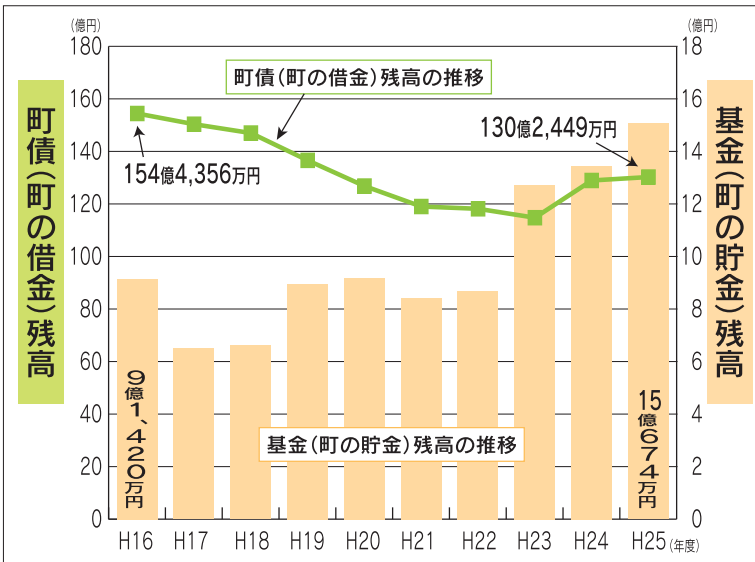
一般質問は、9月8日から10日までの3日間で行われ、15人の議員が質問し、項目は29件でした。

適正な財政運営を

平成25年度決算は、一般会計歳出総額で約124億4千898万円と昨年より10・5割の減となりました。これは、災害復旧費を含めた大型事業が完了したことによるものです。25年度では、国の補助金や交付金を積極的に活用し、事業展開が図られました。今後、少子高齢化社会による社会保障費の増大が懸念されることから、適正な財政運営を心がけ、住民の「納得度」を上げる努力が必要です。

●主な実施事業

教育環境整備関連事業 船迫小大規模改造工事、槻木中校庭整備工事など	3億 363万円
道路改良関連事業 町道富沢16号線道路改良工事など	6億 3,470万円
子育て支援関連事業 船迫こどもセンター新築工事、子ども医療費助成など	2億 4,305万円
水害対策関連事業 鷺沼排水区雨水整備工事、雨水対策工事など	1億 7,781万円
公園整備関連事業 (仮称)さくら連絡橋建設工事、公園整備など	2億 7,972万円



※平成25年度町債は、一般会計分(125億8,449万円)と土地取得特別会計(4億4,000万円)の合計です。
※基金残高は、財政調整基金と町債等管理基金の合計です。

町長から報告された財政健全化判断比率を紹介します

○実質公債費比率

24年度 11.8%
25年度 9.9%

早期健全化基準 25.0%

※数値が大きいほど固定経費、借金の支払いが大きく、財政運営が大変な状況を示します。

○将来負担比率

24年度 70.7%
25年度 64.5%

早期健全化基準 350%

※数値が少ないほど将来の負担が少なくなります。(借金の支払いなどが減っていく)



新築された船迫こどもセンター

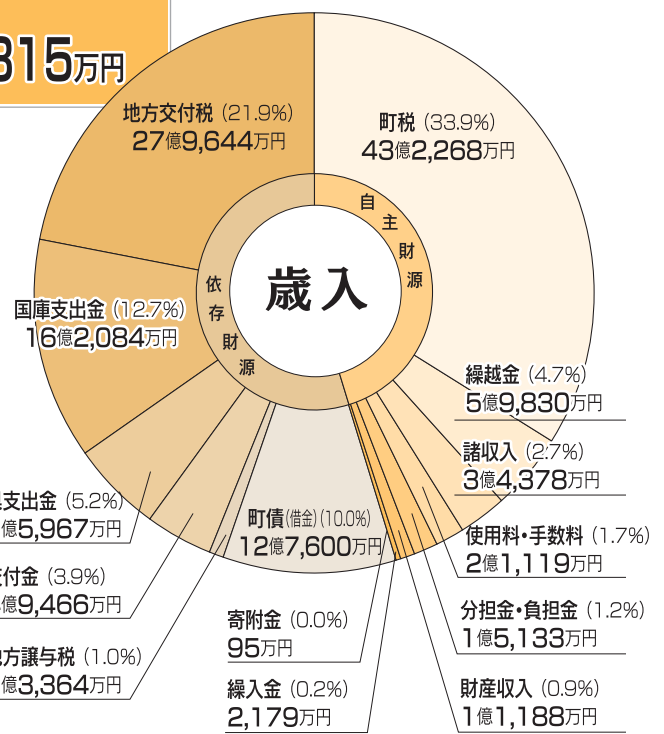
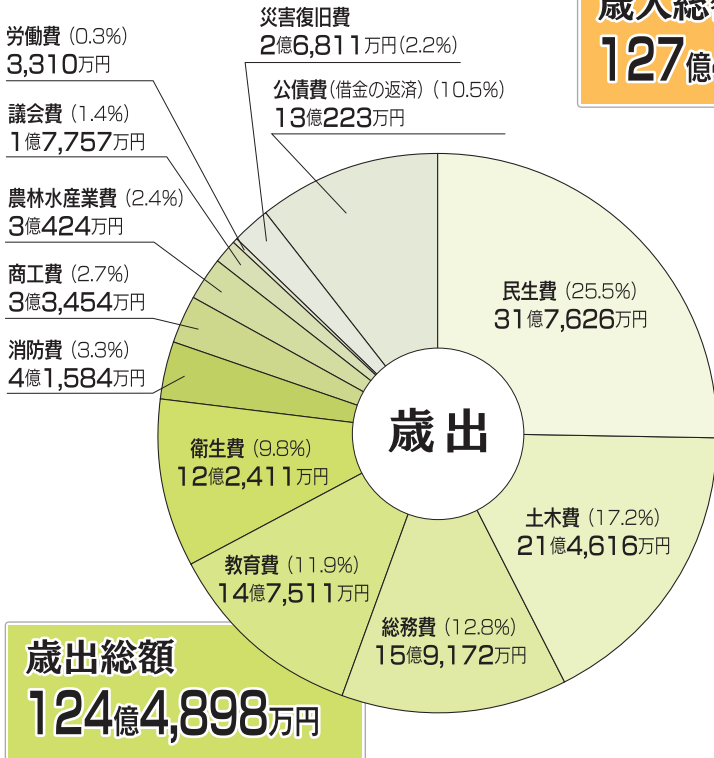


工事が進む(仮称)さくら連絡橋

平成25年度
決算

インフラ整備、子

雨水対策、道路整備、船迫こ



監査意見

監査委員 中山 政喜

我妻 弘国

平成25年度一般会計及び各種特別会計の決算審査の結果、いずれも正確である。関係基金についても適正に運用されている。

なお、次の(1)(2)について留意が必要である。

(1) 定員適正化計画(町職員人数)

第6次定員適正化計画が検討されている中、主要業務を遂行してきた職員の大規模退職により、業務に支障をきたす恐れがある。職員の養成などを考慮した職員配置となるよう検討すること。

(2) 水道事業会計

経営安定化のため、老朽管などの更新を積極的に行うほか、漏水などの不明水の減量に努めること。

討論

認定第1号 平成25年度柴田町一般会計歳入歳出決算の認定

反対討論

広沢 真議員

現在の財政状況において財政規律から逸脱せずにコントロールしながら運営を行っているが、町の施策の中で商工業者支援のための施策の必要性が大きいと感じている。来年度予算に向けて改善を求める。

賛成討論

平間幸弘議員

平成25年度決算は、国庫支出金を有効に活用し、町道維持改良、学校関係改修改良工事を行うなど堅実な財政運営を図っている。また、基金の合計も15億円を超え、安心して暮らせるまちづくりを目指し努力している。

賛成討論

平間奈緒美議員

国の日本経済再生に向けた緊急経済対策による交付金を積極的に活用し、事業を行ったことは評価できる。また、財政健全化判断比率でも基準以下であり、次年度に向けた財源の確保ができたことも評価できる。

総括質疑



白内恵美子 議員

注 規則、礼儀などがごまごましく煩わしいこと。手続きなどがめんどうなこと。(広辞林)

問 官僚制の逆機能からの脱却を

住民主体の参加と協働を進めていくには、職員の意識改革が必要ではないか。アメリカの社会学者マートンが指摘した官僚制の逆機能には、規則万能、責任回避、自己保身、秘密主義、前例主義、権威主義的傾向、注 繁文縟礼、縦割り行政等がある。このような対応をしていないか常に顧みること、時代に合わなくなっている規則の見直しや手続きの簡素化、外部の意見や柔軟な発想を取り入れる必要がある。迅速な意思決定・サービスにより、住民の信頼を得ることで協働が進むのでは。

答 職員の資質向上や人材育成に努める

職員の意識改革については、人材育成基本方針を策定し、既成概念に捉われない柔軟な発想、積極的に取り組む気構え、創意及び行動力を持った職員像を目指し、各種の研修を実施してきた。今後、業務の見直しを進め、横のつながりを強くし、外部の意見や柔軟な発想を取り入れ、お役所仕事と言われないよう、役所の体質改善に努める。さらに、常に町民の視点に立ち職務に取り組むよう、今後も自己啓発と研修を通じて、職員一人一人の資質の向上や人材の育成に努めていく。

総括質疑

問 子ども医療費助成事業。無料だからこそ保護者に理解と協力を

(1) 国民総生産は、前期比1.7割減、年率換算で6.8割減とマイナス幅となっている。法人税減税の動きもあり、今後の歳入の見通しについて問う。
(2) 子ども医療費助成事業は、継続制と事業費削減のため、無料だからこそジェネリック医薬品の使用促進への理解と協力をお願いすべきでは。

答 ジェネリック医薬品の使用促進は不可欠。お知らせ版などで啓発周知を図る

(1) 町の歳入は国の制度改正や経済状況に大きく左右されるため、正確な中長期的な見通しは立てられない。情報収集と分析を進め、的確な財政運営を進めていく。
(2) 限られた財源で、持続可能な制度にしていく上でも、ジェネリック医薬品の使用促進は不可欠である。今後、お知らせ版などで啓発周知を図る。
(3) 町内の冠水常襲箇所、槻木地区、西船迫地区、船岡西地区、船岡南地区の雨水対策工事を順次進めているが、できるだけ急いで集中的に進める必要を感じている。



桜場政行 議員

総括質疑



佐々木裕子 議員

問 歳入の根幹をなす町税について今後の推移は

(1) 柴田町の歳入の根幹をなす、個人・法人町民税、固定資産税の動向について、今後の推移は。
(2) 税の公平負担の原則から、滞納額解消のための、今後の取り組みは。
(3) 平成25年度の財政健全化判断比率が、前年度より改善されたが、今後の推移は。
(4) 平成26年度以降、さまざまな事業の展開が予想される中、財政調整基金をどう活用していくのか。
(5) 町民の要望の高い総合体育館の建設に向けたスポーツ振興基金の積み立てを、今後どう行うのか。

答 少子高齢化、人口減少で右肩上がりにはならない

(1) これからは、少子高齢化、人口減少に伴い、税収が右肩上がりにはならないと考えている。
(2) 仙南地域広域行政事務組合に滞納整理を移管、納税の公平性確保、滞納額の縮減に努力していく。
(3) 4つの財政健全化判断比率のもと、財政の健康状態に合わせ、要望や行政課題の解決に取り組む。
(4) 緊急的な財政需要には機動的に活用し、状況を見て基金残高の維持や積み増しをしていく。
(5) 財政状況を見ながら、総合体育館の建設に向けて、積立金を増やしていきたい。



秋本好則 議員

問

施策のバランスが欠けていないか

(1) 観光は、花のまちに偏っていないか。1億円に近い金額が花のまち政策に向けられたと推測している。毎年資金を注がなければならぬが、同様の施設を持つ神戸市では、税金投入の是非論が起きている。考えを問う。

(2) 公共施設は今後老朽化が進み、維持費が膨大になる。私は毎年19億円かかると試算した。また、施設は複合型にすることが必須と思うがどうか。

(3) 財政健全化判断比率の4つの指標は、他と比較することによって自分の姿を知ることができる。比較する計画の有無を問う。

答

4つの指標から柴田町の財政に不健全さは指摘されていない

(1) フラワーツーリズムが盛んになってきたことを見据え、船岡城址公園の里山と花で、観光客の誘引に着手した。観光客を増やし続けるには、観光素材を毎年提供していくこと、施設の更新、イベントの導入が必要である。

(2) 今後10年の予定は、総合体育館、学校給食センター、図書館、北船岡町営住宅の建設などで、毎年の投資額は6億1千万円となる。これに耐震や維持管理費を同額見込んで12億2千万円、19億円には達しない。

(3) 4つの指標で財政に不健全さはない。健全な指標を比べても無意味である。

みんなの税金ちゃんと使われていますか？

25年度 決算審査特別委員会からの報告

9月16日から18日まで行われた決算審査特別委員会。委員(議員)の質問の中から抜粋して掲載します。

歳入

放課後児童クラブの未納額は

質疑 10万8千円の収入が未納となっているが、その対応は。

答弁 「家庭の所得が安定しない」などを理由に、25年度において初めて発生し、8世帯9人分が未納となっている。対策として、保護者との面談や督促、催告を行い、回収に向け取り組んでいく。

住宅使用料の不納欠損額が増

質疑 前年度より金額が増えている。理由は何か。

答弁 24年度の11人から6人増の17人分で、485万9千543円になっている。一人暮らしの入居者が死亡した場合や、退去後行方わからない方、生活保護を受けている高齢者など、支払いの見込みが

立たない方を改めて拾い出した結果、前年度より増えた。

生活困窮者対策は

質疑 生活困窮者に対して税制の対策はあるのか。

答弁 税制度として免除措置をとるなどの考えはなく、今ある減免規定の範囲で対応していく。

軽自動車税の増収は

質疑 軽自動車税が前年度より増加しているが。

答弁 24年度の取得による課税で、燃費の向上や価格が廉価なことから、特に軽自動車の前年対比で329台、金額で約270万円増加した。

外形標準課税が導入された場合の影響は

質疑 政府で外形標準課税の導入が議論されている。導入された場合、町内の事業所などどのような影響が予想されるか。

答弁 これまでの法人税を下げ、赤字の中小零細に近い法人にも課税がされる。導入されれば、赤字であっても身を削って税金を納めなければならぬことになる。町の景気動向に大きく影響することが予想される。



登録が増えている軽自動車

歳出

災害時の備蓄食料の状況は

質疑 現在、町が保管している備蓄食料は。

答弁 25年度に購入した食料として、ご飯2千食、レトルトカレー3千食、飲料水3千本が社会福祉協議会の倉庫に、クラッカー498缶が庁舎脇の倉庫に保管されている。今後は、賞味期限を確認しながら訓練などで使用し、随時交換をしていく。

カーブミラーの設置状況は

質疑 25年度に11基設置されたが、その内容は。

答弁 老朽化などによる交換が9基、新規が2基である。今後もパトロールを行い、劣化や老朽化した物は逐次交換する。



成田地区に新設されたカーブミラー

アクティビティ事業

質疑 地域生活支援事業の内容は。

答弁 社会福祉協議会で実施しているアクティビティ事業である。

各行政区に協力を依頼し、70歳以上の方を対象に各地区集会所を借りて「いこいの日」として活動している。町で社会福祉協議会に50万円を補助しているが、総事業費は、約257万円かかっている。

はなみちちゃんもっと活用しては

質疑 25年度もさまざまなイベントや保育所の行事に参加し活躍している。今後の活用の仕方では、もっと経済効果が期待できるのでは。

答弁 経済効果はまだみえてこないが、企業からの問い合わせもあり、イラストなどの貸し出しも増えている。また、「ゆるキャラグランプリ」にも毎年エントリーするなど、いろんな場面で活用していく。

社会参加促進事業

質疑 社会参加促進事業補助の内容は。

答弁 北船岡にある青少年と障がい者の自立支援センター「とつておきの広場」で行っている活動への補助で、主に、各種イベントや研修会のほか、河川敷清掃などのボランティア活動も自主的にやっている。

質疑 補助基準はあるの



子どもたちにも人気のはなみちちゃん

か。

答弁 一団体10万円の補助金を設定している。

資材、人件費、高騰での影響は

質疑 資材、人件費の高騰により、事業に影響は出ているか。

答弁 資材、人件費が高騰し、影響は出ている。事業の計画を若干見直す必要が出てくる。

地域の声は反映されたか

質疑 公園整備で行ったワークショップは、どう反映されたか。

答弁 地域の声を反映させ、新栄4号公園は象徴

的な公園に、新栄5号公園は活動的な公園に、新栄6号公園はゆったりと過ごせる公園にした。

職員定数の管理は

質疑 25年度で296人の職員がいるが、今後10年間で113人が定年退職を迎える。新規採用も含めて職員の定数管理をどのように行うのか。

答弁 定員適正化計画の中で290人台を維持し、その後は人口減に伴い、もう少し減らさざるを得ない。

振り込め詐欺被害防止キャンペーンの成果は

質疑 年3回防犯実働隊による「振り込め詐欺等被害防止キャンペーン」が行われているが、その成果は。

答弁 大河原警察署の署員と町職員、防犯実働隊員の7〜8人が、ATM設置の商業施設や金融機関で、被害防止の啓発活動を行った。

残念ながら、25年度は6件740万円の被害があった。今年は、まだ被害の報告がない。



振り込め詐欺被害防止キャンペーン



貴重なビデオテープの原本

高い入園希望者

質疑 25年度の第一幼稚園の入園状況は。

答弁 定員30人に対し43人の申し込みがあった。

「縦ノ木は残った」のDVD

質疑 しばたの郷土館に保管してある、大河ドラマ「縦ノ木は残った」のDVDを見る会の考えは。

答弁 郷土館としても貴重な資料であり、個人への貸し出しはしていない。今後は、その機会を設けていく。

延長保育の利用が増加

質疑 延長保育の利用が24年度よりも増加している。その理由は。

答弁 保護者の社会進出が増えたことにより増加した。今後も、さらに増える予想される。

里山ハイキングコース

質疑 里山ハイキングコースの案内板の設置、コースの整備に関しての考え方は。

答弁 コースの選定、案内板の設置は農政課で行い、コースの案内は槻木生涯学習センターで行っている。

里山ハイキングには農政課職員も同行し、利用者の声を聞いたり、コースの点検を行っている。今後も両セクションが一体となって事業を進めていく。

医師団との共同事業

質疑 いきいきお茶つこ会が、柴田町・医師団共同事業として行われている。実績は。

答弁 町医師団の協力をいただき、介護予防として「いきいきお茶つこ会」を槻木地区で5回開催した。好評だったことから、船岡地区でも行う。

特定健康診査の受診率は

質疑 予防という点から、特定健康診査の受診率を上げることが大切では。

答弁 25年度実績で33・9割、スタートした20年度は46・3割で、年々下がっている。国の目標が29年までに60割と高い数値だが、受診率向上に向けて新たな取り組みをする。

負担額8千円で耐震診断を

質疑 木造住宅の耐震診断、募集件数に対し実施件数が減っているが。

答弁 改修計画を伴う診断をすると13万6千円かかるが、個人の負担額は8千円で済む。お知らせ版に掲載したが、24件にとどまった。

児童・生徒の支援体制は

質疑 スクールソーシャルワーカーとスクールカウンセラーの違いは。

答弁 スクールソーシャルワーカーとスクールカウンセラーの違いは。

用水路の悪臭対策

質疑 エコライフ事業の中で、「EM泥団子を使い、用水路の悪臭対策の実証実験を行った」とあるが、どのような内容か。

答弁 土にEM菌を混ぜ込んだ団子を作り、町内3カ所の土水路に、年2回投入した。菌が水路に定着し活性化すると、匂いなどの悪臭を緩和する効果がある。継続して実験している一部の水路では悪臭も緩和され、水生生物も生息するようになったと報告がある。



実証実験中の土水路

9 月 会 議
平成26年度
補正予算

槻木保育所ゆとり保育の保育室増築工事費含む

2億8,752万円 増額補正

槻木五間堀川河川改修工事、学校給食センター建設基金など



ゆとり保育の建設予定地（槻木保育所）

一般会計補正予算は、槻木五間堀川河川改修工事、槻木保育所ゆとり保育室増築工事など、総額2億8千752万円の増額となり、原案のとおり可決しました。

槻木保育所ゆとり保育の定員は

質疑 槻木保育所で行われるゆとり保育の定員は。

答弁 船岡保育所と西船迫保育所では、1日7人くらい預かっている。槻木保育所でも同じ7人を予定している。

西船迫保育所の駐車場2台分増設

質疑 何台の増設予定なのか。

答弁 既存の駐車場の脇に、2台分を増設する。

防犯灯、槻木学習センター付近を整備

質疑 防犯灯の新設改良工事の内容は。

答弁 今回の補正で、槻木生涯学習センター付近を中心に、灯具交換9カ所、新設1カ所を整備する。

槻木五間堀川河川改修工事の内容は

質疑 槻木五間堀川河川改修工事の詳細説明を。

答弁 海老穴地区の清丁地沖の境橋から上流に向かって217メートルの区間で、堤防のかさ上げ工事を実施する。

一般会計の補正による主な実施事業

東北子ども博負担金	300万円
学校給食センター建設基金積立金	3,000万円
槻木五間堀川河川改修工事	2,500万円
仙南地域職業訓練センター改修工事	2,995万円



かさ上げ工事が決まった槻木五間堀川

意見書

可決

○「手話言語法」制度を定める意見書
(全会一致)

○平成23年度、平成24年度から平成26年度まで実施されている「被災児童生徒就学支援等臨時特例交付金」交付を平成27年度から平成29年までの期間も実施することを求める意見書
(全会一致)

○被災地の小・中・高校の教育条件整備、30人以下学級編成、複式学級の解消、教職員の被災地加配を強化することを求める意見書
(全会一致)

否決

○特定秘密の保護に関する法律（特定秘密保護法）の廃止を求める意見書

反対討論
斎藤義勝議員

政府の持つ情報は国民が共有すべきだが、特定秘密はその対象外である。尖閣諸島の動画漏洩問題で日中関係が悪化した。もし、この法律がないと、このようなことが生じる恐れがある。日本の国益上、必要な法律である。

人事案件



○教育委員会委員の任命に同意

船迫 邦則氏（新任）
(西船迫1丁目)

○人権擁護委員の推薦に同意

葉坂 広之氏（新任）
(大字葉坂)

7月会議
7月31日開催
平成26年度
補正予算

一般会計補正予算 災害復旧費など 1億6,519万円増額

船岡城址公園山頂に里山ガーデンハウス建設



里山ガーデンハウスの建設予定地

7月会議では、災害復旧費、里山ガーデンハウスなどの一般会計補正予算について審査し、原案のとおり可決しました。

里山ガーデンハウスとは

質疑 里山ガーデンハウスの場所と規模は。

答弁 船岡城址公園山頂付近に建てる。木造平屋建ての約21坪で、トイレ設置を主に、ギャラリースペース、授乳スペースを兼ね備えた施設にしたい。

討論

平成26年度

柴田町一般会計補正予算

反対討論

秋本好則議員

私は里山ガーデンハウスという名を初めて聞く。館山に作るなら全体構想を示し、費用対効果を明確にして町民への事前説明が必須である。納税者が知らないうちに工事が進んでしまう。再び失策を繰り返してはならない。

賛成討論

水戸義裕議員

今の反対討論には、議案への反対なのに、どこが反対でどこが不満なのかはっきりと発言していない。審議して反対か賛成かの討論なので、今の討論の仕方は甚だ疑問である。私は賛成する。

反対討論

白内恵美子議員

里山ガーデンハウス新築工事実施設計委託料に疑問を感じる。館山山頂への21坪もの建物は、景観を壊さないか。工事費4千700万円に2分の1補助があつても、将来の維持管理に補助金は出ない。十分検討すべきである。

賛成討論

佐々木 守議員

今回の補正は、白石川堤外地環境整備工事や、(仮称)さくら連絡橋建設工事、町道館山4号線歩道整備工事など、既に決裁を受け、事業を進めている補完工事である。よって妥当な補正予算と認め賛成する。

8月会議
8月22日開催

槻木地区雨水対策工事始まる

6千156万円工事請負契約
太陽光設備工事 1億5千66万円

8月会議は、槻木地区雨水対策工事、太陽光発電設備工事について契約案件を審査し、原案のとおり可決しました。

槻木地区雨水対策工事



今回の雨水対策工事箇所

質疑 槻木生涯学習センターの旧国道交差点付近から稲荷山用水路までの、工事期間は。

答弁 発注している149坪の工事期間は6カ月ぐらいで、平成27年2月28日を目標に進めていく。

役場庁舎・地域福祉センター・太陽の村に太陽光パネルを設置

質疑 交通量が多い道路であり、工事期間中の安全対策は。

答弁 交通誘導については、地域の方と打ち合わせをし、安全に配慮しながら進めていく。

質疑 太陽光パネル設置による電気代の節減は。

答弁 1施設につき発電規模が20誌で、年間30万円になる。さらに蓄電池使用で10万円の節減となる。

1施設約40万円の節減が図れるので、3施設で120万円になる。

本会議の出欠状況・議案などの審議結果

●本会議の出欠状況

区分	主な内容	月日	出席者数	出欠状況																
				平間 幸弘	桜場 政行	吉田 和夫	秋本 好則	齋藤 義勝	平間奈緒美	佐々木裕子	高橋たい子	安部 俊二	佐々木 守	広沢 真	有賀 光子	水戸 義裕	舟山 彰	白内恵美子	我妻 弘国	星 吉郎
(平成 26 年度) 7 月会議	本会議	補正予算	7.31	18	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
(平成 26 年度) 8 月会議	本会議	請負契約	8.22	18	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
(平成 26 年度) 9 月会議	本会議	町政報告、一般質問	9.8	18	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
		一般質問	9.9	18	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
		一般質問	9.10	18	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
		補正予算	9.11	18	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
		平成 25 年度各種決算上程・総括質疑	9.12	18	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	決算審査特別委員会	正副委員長の互選等	9.12	16	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	監	○
		平成 25 年度決算認定審議	9.16	16	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	監	○
		平成 25 年度決算認定審議	9.17	16	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	監	○
		平成 25 年度決算認定審議	9.18	16	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	監	○
	本会議	平成 25 年度決算認定採決、追加議案	9.19	18	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○

※「○」は出席、「欠」は欠席、「早」は早退、「遅」は遅参を表しています。
 ※決算審査特別委員会中、「監」は説明員（議会選出監査委員）として出席していることを表しています。
 ※議長は決算審査特別委員にはなりません。

●議案などの審議結果

○賛成と反対（賛成しない）に分かれたもの

区分	件名	賛成	反対	議決結果	表決状況														
					平間 幸弘	桜場 政行	吉田 和夫	秋本 好則	齋藤 義勝	平間奈緒美	佐々木裕子	高橋たい子	安部 俊二	佐々木 守	広沢 真	有賀 光子	水戸 義裕	舟山 彰	白内恵美子
(平成 26 年度) 7 月会議	平成 26 年度柴田町一般会計補正予算	13	4	原案可決	○	○	○	否	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
(平成 26 年度) 9 月会議	人権擁護委員の推薦につき意見を求めること	16	1	適任	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	平成 25 年度柴田町一般会計歳入歳出決算の認定	16	1	認定	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	特定秘密の保護に関する法律（特定秘密保護法）の廃止を求める意見書	4	13	否決	否	否	否	否	否	否	否	否	○	否	○	否	○	否	議

※「○」は賛成、「否」は賛成しないことを表します。
 ※「議」は表決時に議長のため、表決に参加していないことを表します。

○全員が賛成したもの

区分	件名
(平成 26 年度) 8 月会議	平成 26 年度槻木地区雨水対策工事請負契約
	平成 26 年度太陽光発電設備工事請負契約
(平成 26 年度) 9 月会議	平成 26 年度柴田町一般会計補正予算
	平成 26 年度柴田町国民健康保険事業特別会計補正予算
	平成 26 年度柴田町公共下水道事業特別会計補正予算
	平成 26 年度柴田町介護保険特別会計補正予算
	平成 26 年度柴田町後期高齢者医療特別会計補正予算
	平成 26 年度柴田町水道事業会計補正予算
	平成 25 年度柴田町国民健康保険事業特別会計歳入歳出決算の認定
	平成 25 年度柴田町公共下水道事業特別会計歳入歳出決算の認定
	平成 25 年度柴田町介護保険特別会計歳入歳出決算の認定
	平成 25 年度柴田町後期高齢者医療特別会計歳入歳出決算の認定
	平成 25 年度柴田町土地取得特別会計歳入歳出決算の認定
	平成 25 年度柴田町水道事業会計未処分利益剰余金の処分及び決算の認定
	教育委員会委員の任命
	平成 26 年度柴田町公共下水道事業大原汚水幹線工事請負契約
	「手話言語法」制定を求める意見書
平成 23 年度、平成 24 年度から平成 26 年度まで実施されている「被災児童生徒就学支援等臨時特例交付金」交付を平成 27 年度から平成 29 年度までの期間も実施することを求める意見書	
被災地の小・中・高校の教育条件整備、30 人以下学級編成、複式学級の解消、教職員の被災地加配を強化することを求める意見書	



9 月会議

一般質問

ズバリ



あなたにかわって

ここが聞きたい

Q & A



一般質問は9月8日から10日までの3日間で行われ、15人の議員が質問しました。質問と答弁の内容について、その一部を掲載します。答弁者は、滝口町長、阿部教育長及び各担当課長等です。



舟山 彰 議員

Q 第5次柴田町総合計画後期基本計画策定の進め方は

A 住民懇談会で改めて住民意見の調整をする



住民参加による柴田町総合防災訓練

第5次柴田町総合計画後期基本計画の策定方針は、7月の議員全員協議会で説明を受けた。
問 「東日本大震災を教訓とした災害対策」を講じる計画とあるが、これまで実施してきた対策とどう違うのか。
答 職員が配置されない場合や、されている場合の避難所運営の訓練や継続した防災意識の啓発を行う。さらに、自主防災組織による地域の安全点検の底上げを図る取り組み

みには、地域づくり補助金を活用して進める。
問 「住民参加」として、後期基本計画に住民の意向を反映させるために「まちづくりアンケート」を実施したが、その結果をどのような手順で後期基本計画案に反映させるのか。
答 アンケート結果で重要度が高く満足度が低い取り組みは庁内で議論を重ねて素案をまとめ、さらに修正を行っている。住民には住民懇談会で説

明し、改めて住民の要望と意見の調整を行い、計画に反映させていきたい。
問 アンケートで、「柴田町住民自治によるまちづくり基本条例」を知らない人が75%もあった。前にも質問したが、町はどのような周知対策を取ったのか。
答 まちづくりの理念は、住民一人一人の思いと行動によって、着実に浸透してきていると感じている。



平間奈緒美 議員

Q 船岡小学校区内に
児童館を

A 関係部署と協議を進め、
設置を検討する



放課後児童クラブで遊ぶ子どもたち（船岡小学校）

問 平成26年度を目標年次とした「次世代育成支援地域行動計画（後期計画）」の事業成果は。

答 子育て施設の充実や子ども医療費助成を中学3年生までに拡大するなど、おおむね順調に進めることができているものと判断している。

問 平成27年度開始予定の子ども・子育て支援新制度では、放課後児童クラブは小学6年生まで拡大される予定となっているが、対策はあるのか。

答 教室不足の課題など

があるが、すぐには難しくても、子育て支援事業計画の中に、高学年対象の児童クラブの実施を盛り込んでいく考えでいる。

問 船岡小学校区内には児童館がない。児童館の整備は。

答 船岡小学校区内にも児童館は必要であり、町としての整備も上位にある。今後は、開設場所の選定や児童館機能にあわせた多くの町民が利用しやすい施設機能の選択、職員体制や建設費など、関係部署と協議を進め、

船岡児童館の設置に向けて検討していく。

問 子育て専用サイトと「しばた子育て支援ガイドブック更新」の進捗状況は。

答 子育てガイドブックはリニューアルする予定である。専用サイトは取りやめて当初予算から減額し、今あるホームページを充実させて情報発信をしていく。

問 文部科学省の有識者会議の最終報告によると、アナフィラキシーを経験した子どもは5万人弱、自己注射薬エピペンを持つ子どもは約2万7千人、平成20年4月以降に学校内でエピペンを使用した例は408件もあった。情報の把握や共有はどのように実施しているのか。

答 児童生徒の情報は、担任や養護教諭任せにするのではなく、職員会議などで情報共有と共通理解を図っている。また、

各学校では、毎年、学校医、教育委員会職員を交えた学校保健委員会を開催し、その中でも情報交換を行っている。

問 事故の予防策は。

答 摂取してはいけない食品を児童生徒が自分で取り除いている。できるだけ複数のアレルギーン（卵・エビ・カニなど）が献立に重複しないように留意している。また、担任が、除去するアレルギーンを正しく理解し、給食時に十分配慮することや、

保護者が児童生徒に対し、取り除く食品を理解させておくよう協力を求めることなどを行っている。

問 緊急時の対応策は。

答 緊急時に備えるため、各学校の養護教諭は、「食物アレルギー・アナフィラキシーの対応を考える」と題した学校保健研修会に参加し、その後の職員会議で全教職員に周知も図っている。



吉田和夫 議員

Q 学校給食における
食物アレルギー
対応は

A 学校保健委員会を開催し、
情報交換を行っている



おいしく楽しい学校給食（船迫小学校）



高藤義勝 議員

Q 公共施設マネジメントを問う

A 延命化を図りながら維持管理をしていきたい



築41年を経た庁舎

国土交通省は「国土のブランドデザイン2050」を今年7月に発表した。比較的人口が集中している役場や小学校のある全国約5千カ所の「小さな拠点」に、郵便局や診療所などを集約させ、インフラを賢く使うとしている。このことは、柴田町の公共施設マネジメントと相通じるものがある。自治体は、これらのことを踏まえ、住民や地元企業と地域のまちづくりや雇用創出の将来像を

描くべきと考える。
問 昭和40年から48年までに建てられた公共施設のうち、耐震補強が必要な建物と建築年度は。
答 必要な建物は3施設である。建築年度は、西住児童館と船岡公民館が昭和45年度、役場庁舎が昭和48年度である。
問 20年後の柴田町の人口予想は3万3千人と
答 体が過剰保有ではないか。地区には必要で、延命化を図りながら施設の

維持管理をしていきたい。
問 施設の複合化によるメリット・デメリットをどのように捉えているか。
答 メリットは、経費の一本化が図れることである。一方、2、3地区の施設を1つにすればコミュニティが疎遠になる。
問 公共施設マネジメントには町民の意識の共有と協働の推進が必要では。
答 意識の共有をもっての合意形成は相当困難ではあるが、議員からも住民に説明してほしい。



水戸義裕 議員

Q 通年型で続く観光策の考えは

A 旅行企画ができる種を播いていく



船岡城址公園にある縦の木と文学碑

問 大河ドラマ「縦ノ木は残った」は、本町の観光政策の始まりである。船岡城址公園の歴史と観光についての考え方を問う。
答 放送を契機に船岡城址公園の歴史を活用した観光政策が始まり、開発され館山は変貌した。計画的に復元し、観光客の誘致につなげていきたい。
問 町ホームページ内の縦ノ木は残ったの紹介文に、「三代目綱宗が隠居し、3歳の亀千代が家督

を」とある、町史や大概の歴史書では2歳で家督をとある。なぜ違うのか。
答 調査したい。
問 大河ドラマ放送から45年が経過し、これを知らない世代が多い。(仮称)さくら連絡橋の開通に合わせ、放送45周年を記念し、PRしては。
答 前向きに考えたい。
問 原田甲斐宗輔の肖像画があるようだ。展示できないか。また、NHKにも残っていない放送のテープが本町にある。活用できないか。

答 (仮称)さくら連絡橋開通に合わせ紹介できるか、調べたい。
問 小説中にクルミ味噌を甲斐が作らせたところ。そういった味噌や商品などを、通年型で続く観光策としての考えはどうか。
答 クルミ味噌ができれば、次のステップで取り組むこともやぶさかではない。町の観光を旅行企画でできるよう、種を播きたい。



佐々木守 議員

Q 土砂災害発生時の避難勧告基準の見直しは

A 伊豆大島や広島の災害対応を参考に見直す



災害時の避難経路の見直しが必要な西船迫地区

問 広島市で起きた大規模土砂災害に関連し、宮城県では土砂崩れや地滑りの恐れがある危険箇所のうち、比較的住宅の多い地域の調査を2022年度までに終える方針を表明した。

問 土砂災害警戒区域、土砂災害特別警戒区域に柴田町は指定されたのか。

答 県から土砂災害警戒区域32カ所が指定され、そのうち土砂災害特別警戒区域として28カ所が指定された。

問 土砂災害発生時の避

難勧告などの発令基準は。

答 避難勧告は、仙台管区気象台が柴田町に大雨警報を発表し、宮城県土砂災害防止情報システムで警戒レベルに達するか前兆現象が見られた時に出す。さらに、避難指示は、同システムで危険レベルに達するか前兆現象出現で出す。

問 伊豆大島や広島市で避難勧告が出されないまま大きな被害が出たことから、国は空振りをおそれず早めに出すように求めた。この状況から、作成

中の発令基準を見直すのか。

答 気象庁、宮城県、防災関係機関などの指導、助言を受け、伊豆大島や広島市の対応も参考にしながら見直す。

問 災害時の避難場所マップなどの住民への配布や説明は。

答 出前講座やお知らせ版などに避難場所を掲載し、町内全戸に知らせる。



白内恵美子 議員

Q 新たな図書館建設へ動き出す時機では

A 機運を高めるため、来年講演会を考える



開館4年が過ぎた柴田町図書館

滝口町長は7月の町長選挙において、「本格的な図書館建設」を公約に掲げ当選を果たした。

問 つなぎの図書館の開館から4年が過ぎ、図書館建設へ向け動き出す時機だと考える。図書館は最も集客力があり、賑わいの拠点となることから、新たなまちづくりの中心となる。今後の地方自治推進の要となるのでは。

答 図書館は大変重要な施設であり、憩いの場、生涯学習の拠点である。

これからの図書館は、子育て支援や高齢者対策、企業支援等のさまざまな活用が図られることから、柴田町の図書館に求められる機能や役割等を検討していく。住民の機運を高めるため、来年開館5周年記念の講演会を考える。その後、図書館建設基本構想策定に向け、専門家を交えた検討委員会の立ち上げを検討したい。

問 町長は建設を、いつ頃と考えているのか。

答 住民の図書館への理

解は進んできているが、体育館が先だという声の方が大きい。経常経費が増える一方で、体育館の規模次第で図書館の建設時期が変わる。

問 町の政策として、それはおかしい。公共施設計画の中で全体を考え、どこまで財政負担が可能なのか考えるべきでは。

答 全てのプロジェクトの財政シミュレーションは、職員に相当の負担をかけるので、困難である。



秋本好則 議員

Q 文化財・奥州街道の活用を

A 文化財保護委員会に諮って検討したい



リコー研修所前の七里里程標

奥州街道は人々や地域をつなぐ機能を持っていた。活用すべきと思う。
問 文化財としての奥州街道、一里塚、里程標の調査を考えているか。
答 奥州街道調査は、文化財保護委員会や柴田町郷土研究会とともに行った経緯がある。町内に一里塚が3カ所、また、明治22年に宮城県が仙台芭蕉の辻を起点として建てた里程標が2カ所存在していることを確認していた。

問 一里塚は地域をつなぐツールとして有効だと思いが、その場所はどうだろうか。
答 北船岡2号公園のあたり、船迫の内余川、四日市場の信号機付近にあったと把握している。
問 里程標はどうか。
答 リコー研修所前と札木事務所の前あたりにあったという記録があったが、後者は、船迫団地造成の際に失われた。
問 仙南の里程標で元の形を留めているのは3本だけである。柴田町の1

本も危ない状態になっている。保護はできないか。
答 館山の御霊屋、みだれ坂も検討中なので、早速、文化財保護委員会に諮って検討したい。
問 地域に誇りを持つことが地域計画の目的のひとつ。地域間つなぎに「増補行程記」は活用できないか。
答 文化財としての史跡の保護、活用ということのほか、地域づくり計画、まちづくりという面でPRしていきたい。

問 町は、美しく質の高いコンパクトシティを目指し、旧トツコン跡地を活用したスポーツ・文化ゾーンの整備方針（試案）を策定し、調査研究を継続している。本年度は、実施計画策定の年であるが、これまでの進捗状況と経過、今後の当該用地の活用を問う。
答 方針に基づき、総合体育館建設と防災公園整備の2方向から基本構想に取りかかる。平成25年度は体育協会や文化協会

と意見交換をした。26年度は総合体育館構想を策定し、27年度は町にふさわしい体育館の機能と規模を決定する。
 一方、26年3月に防災公園基本構想を発表した。27年度以降に基本構想案の調整を図り、跡地利用の全体計画を策定する。用地は、計画が確定するまで環境保全に努め、町主催事業開催時の臨時駐車場として活用を図る。

問 当該用地は、一部で活用でも支障がないよう整地が必要と考えるが。
答 今は、利用する上で特に問題はない。整地が必要な場合は、簡易的な整地を行っていく。
問 用地のかさ上げが必要だと考えるが、近隣住宅との兼ね合いも含め、住民説明などをどのように考えているのか。
答 境界など町単独では行えず、事前の説明で理解を得て協力を求めている。

Q スポーツ・文化ゾーンの整備方針は



佐々木裕子 議員

A 総合体育館建設と防災公園整備の2方向で検討



町主催事業開催時の臨時駐車場として活用



桜場政行 議員

Q 小規模保育と家庭的保育の進捗状況は

A 新制度の小規模保育2カ所、家庭的保育1カ所が準備中



笑顔が輝く子どもたち（スマイルキッズ）

問 新制度の小規模保育、家庭的保育が実施されれば、国などから資金が入る。資金が豊富になれば、人材も集めることができると、待機児童の解消にもつながる。

答 町内の事業者では、新制度での小規模保育事業に2カ所、家庭的保育事業に1カ所が移行の準備を進めている。また、他市町村の事業者も、平成27年度から1件、28年度から1件の事業者が小規模保育施設の開設の準備を進めている。

問 待機児童の内訳は、求職中、勤務中も含めて31人である。船岡保育所19人、槻木保育所5人、西船迫保育所7人である。

問 4月から実施する予定の小規模保育の場所は、まだ正式な合意ができていないが、船岡地区を予定している。

問 28年度から実施予定の小規模保育の場所を、

槻木が船迫でできるよう話し合いを進めては、

答 来年4月から槻木保育所で、ゆとり保育が可能になるが、待機児童解消にはならない。バランスを考えて、槻木地区を優先する。

問 小規模保育、家庭的保育の連携施設体制は、

答 町内3カ所の保育所を連携施設にしたいと考えている。3歳になってからの受け皿は非常に重要であり、体制づくりをしていく。

問 認定こども園は、待機児童の受け皿として期待されている。柴田町でも認定こども園を普及させる考えはないか。

答 現在、町では3カ所の公立保育所、1カ所の私立幼稚園が運営されている。認定こども園は、幼稚園と保育所をあわせ持った機能ということで、待機児童の解消には非常に有効な手段である。

認定こども園の普及については、今後、検討を

重ねながら進めていく必要があると考える。

問 現在、保育所の待機児童は31人いる。この年齢別は、

答 0歳児8人、1歳児7人、2歳児4人、3歳児7人、4歳児4人、5歳児1人である。

問 来年度から新しい制度に変わるが、宮城県で新たに認定こども園をつくる市町村は、

答 宮城県内170私立幼稚園からの回答の中で、新制度に移行したい幼稚園

が28件、現行のままが38件、残りの104件は検討中である。

問 104件が検討中という理由は、

答 国は、ほとんどの私立幼稚園が移行すると見込んでいた。しかし、加算制度の判断が難しいということで、1、2年は様子を見た上で移行への判断をしていくのではないかと考えている。

Q 認定こども園の普及を



有賀光子 議員

A 今後、検討を重ねながら進めていく



ブランコで仲良く遊ぶ子どもたち（槻木保育所）



安部俊三 議員

Q スポーツ振興課設置で、一層の推進を図るべき

A 来年4月からのスポーツ振興課設置を検討



総合型地域スポーツクラブプレ事業「フライングディスク体験会」

問 健康づくり・スポーツ普及や実践が進展途上にあると思うが、今後の推進策を問う。

答 町が目指すスポーツ施策の方向性を示す長期計画「柴田町スポーツ推進計画」を、平成28年3月までに策定する。この計画は、スポーツを取り巻く環境の変化への対応が求められ、「する・見る・支えるスポーツ」の実現に向けての推進策を示すものとなる。

問 多くの課題への対応

答 が必要であるため、スポーツ振興室からスポーツ振興課に組織を変え、一層の推進を図るべきと考えるが。

問 船岡公民館内のス

答 通常業務に加え、総合型地域スポーツクラブ事業開始など、業務量が増加する。また、組織力の強化や意思決定の迅速化を図る必要がある。来年4月からのスポーツ振興課へ昇格させることを検討する。

問 船岡公民館内のスポーツ振興室は、同敷地内の町民体育館が解体されるなど、状況が変わってきている。事業推進の不効率を勘案すると、スポーツ振興室を移設することが妥当であると考え

答 スポーツ振興課、町体育協会、総合型地域スポーツクラブの事務所及び会議などの施設が必要となるため、当面は現在の船岡公民館に置き、将来は総合体育館に設けた

全国で大規模水害や土砂災害が相次いでいる。被災自治体では避難対応に苦慮している。それは、災害が深夜や早朝にかけて起きていることに起因している。緊急時の避難について改めて見直しをする必要がある。

問 土砂災害警戒区域未指定の場所は、

答 未指定の場所は112カ所である。上川名、四日市場、船迫地区の14カ所で指定に向けた準備が進んでいる。

問 避難勧告、避難経路、水害時の避難指定場所の検証が必要ではないか。

答 まず、避難勧告の判断基準を早急に定めるとともに、避難経路や指定場所で安全が確保されているか、自主防災組織とも情報を共有しながら検証していきたい。

問 町としての判断、地域での避難行動について、自主防災組織との認識のすり合わせが必要では。

答 日ごろの訓練から土砂災害警戒区域や土砂災

害特別警戒区域を除いた安全な避難経路を確認してもらうなど、自主防災組織と協力し、すり合わせを行っている。災害情報の伝達には、災害防災メールのほか、行政区長や消防団幹部に防災無線を通じて状況を伝える。さらに、宮城県の防災情報システムを経由してNHK、民放テレビ、ラジオを通し、データ放送などで情報を提供する。

Q 水害、土砂災害に対する十分な対策を



広沢 真 議員

A 自主防災組織と協力、確認しながら進める



鬼石沢予防治山工事により排水路が整備された四日市場地区



平間幸弘 議員

Q 自主防災組織の現状は

A 全行政区に組織され活動している

豪雨や地震が発生した際、自主的な避難と、行政からの避難勧告後の行動とは、生死にかかわることも報告されている。今後は、各地区の自主防災組織と共同の取り組みが必要であり、次のことを問う。

問 各地区の自主防災組織の現状は。

答 平成23年4月に最後の行政区が組織化し、全行政区に結成された。うち34カ所では避難、通報初期消火訓練などを行っ



6月29日豪雨時の大江掘水門

ている。訓練を行っている地区についても、町の出前講座を活用し、安全な避難経路の確保や、速やかな避難に対する実践訓練を働きかけていく。

問 各地区によつては消防団を退団した人が集まり「消防団協力隊」を組織した地区もあるが、消防団と同じ待遇を。

答 昨年12月に全行政区に対し通報訓練を行った。今年も行う予定であり、訓練を重ねていく。

問 消防団員の現状は。

答 団員数は定員不足であるが、各種訓練や研修を行い、団員の結束を図り、活動できる体制にある。しかし、7割以上がサラリーマンである。

答 出動に対する手当は支給できないが、事故などの保障については、共済掛金の半額を自己負担することで、消防団と同じ保障が受けられる。

問 平成26年度の全国学力調査の結果は。

答 中学校は、県・国の平均正答率を下回り、小学校は、2校が県・国の平均正答率を上回った。

問 「保護者の権利に応えたい」の要望を受け、成績の公表ができるようになってきている。保護者は、改善する姿が分かれれば、安心するのではないか。

答 数値の公表は行わないが、保護者の期待もあることから、文科省は学校ごとの課題は何か、子

どもの弱点はどこか、詳細に調査分析したデータを学校に報告している。

問 学校で元気に勉強するため、毎朝、食事して登校する割合は。

答 全国は83・8割で、町は80・5割と少なくなっている。

問 携帯電話、スマートフォン、ゲーム、ビデオ、テレビ、CDなどの使用時間が長いほど成績が低い傾向とされているが。

答 柴田町は全国と比較した場合、大分長時間で

あり、指導改善の必要がある。

問 子供貧困対策大綱の重点支援策は。

答 貧困家庭の教育を受けける機会を保障することである。

問 「卓越性の追及」という考えがあるが、柴田町の教育方針を問う。

答 学校・教員は、子どもの良さ、可能性を引き伸ばす教育を目指す。

Q 教育こそ未来への最も大切な投資である。取り組みは

A 子どもの良さ、可能性を引き伸ばす教育を目指す



我妻弘国 議員



真剣に授業に取り組む1年生（柴田小学校）

掲載した質問のほかに、次の項目がありました。

舟山 彰 議員

問 柴田町の生活保護世帯数は。また、生活困窮者はどのくらいと推定されるのか。

答 243世帯である。生活困窮者については定義が確定せず、その数の把握は困難である。

平間奈緒美 議員

問 正しいペットの飼い方、飼い主のマナー向上に向けて啓蒙活動を。

答 マナー向上、動物虐待禁止などを周知し、関係機関と連携を密にし、啓蒙活動に取り組む。

吉田和夫 議員

問 企業誘致にはどのような策を講じているか。

答 企業の誘致や既存企業の生産設備の拡充を促すなど、働く場の確保に努めていく。

斎藤義勝 議員

問 40歳以下の既婚者向けに、定住化促進住宅ローンの検討を。

答 制度の内容がまだ把握できていないが、前向きに検討したい。

佐々木 守 議員

問 道徳教育教科書を「心のノート」から「私たちの道徳」に変えた理由は。

答 教科化、実際には特別の教科とするため、その準備として新しい教科書に変え配布した。

白内恵美子 議員

問 国民生活調査で、平成24年の子どもの貧困率が16.3%となった。柴田町の実態把握は。

答 町では子どもの貧困に関する調査を実施していないので、数値的な把握はできていない。

問 これからは声なき声だった住民の声を集め、参加の機会と場を創りだすべきでは。

答 住民参加の方法は見直しも必要であり、まちづくり基本条例審議会で議論していきたい。

秋本好則 議員

問 地域計画提出を、敬老会交付金の条件にしたのか。

答 地域計画策定に時間的な余裕がない所もあり、暫定的に経過措置という形の支援もあった。

問 種々の事例で国はPPP*の説明を行っている。我が町でも検討する時期ではないか。

答 公共施設の総合管理計画を進める中で、議論を深めたい。

佐々木裕子 議員

問 パークゴルフ愛好者は他町村に出向き、交流人口増に寄与している。プレー場設置を問う。

答 経費節減のため、自衛隊の用地造成でどれだけの費用となるかを、来年度検討する。

問 平和観音像の経年劣化や安全性から、(仮称)さくら連絡橋の完成までに全面改修を。

答 (仮称)さくら連絡橋がグランドオープンする平成28年4月までの実施を検討する。

桜場政行 議員

問 町長の企業訪問再開で、地元企業の現状と課題を把握すべきでは。

答 大変意義深いと捉えている。今後は、まだ訪問していない企業を訪問していきたい。

有賀光子 議員

問 安心して学べる教育環境を整えるため、インフルエンザ予防接種費用の助成を小中学生に。

答 国の定期接種化や医学的根拠に基づく有効性の確認を注視していきたい。

広沢 真 議員

問 消費税の増税などによってダメージを受けている町の業者に支援を。

答 消費税の影響は意外に少ないと考える。町の公共事業やイベントで支援をしていく。

*PPP：官民連携の形で、設計、資金調達、建設、管理を分担及び委託する仕組み。

開 催

一般懇談会

7月27日と8月2日に、町内6会場で懇談会を開きました。今回のテーマは、「あなたの考える地域づくりの課題」と「町政・議会」でした。参加された皆様からの貴重なご意見に対する回答の一部を掲載します。

なお、参加者は47人で、昨年の71人より少ない人数に終わってしまいました。この問題をどうするか、次回への課題と受け止めて、議会内で議論していきます。

共同作業が 難しくなった

質問 高齢化が進んでいく地域では共同作業も困難になってきています。対策はありますか。

回答 人口減少社会を迎えることは大きな問題と考えています。国も人口減少に歯止めをかける新しいシステムを考えていますので、町としても現在情報収集をしているところです。

(まちづくり政策課)

見守り隊の増員対策と 保険加入を

質問 見守り隊の高齢化が進んでボランティアの数も減ってきました。増員対策や保険加入などの見直しが必要ではないでしょうか。

回答 見守り隊はボランティア活動なので、協力者の確保は難しいです。学校や行政区の協力を得て人員確保をしていきます。なお、26年度からボランティア保険に加入しています。(教育総務課)

町内一斉スピーカー の設置を

質問 船舶地区に土砂災害警戒区域があると聞き、災害の恐れのあるときは広報車でお知らせするということが、一斉に通報できるスピーカーの設置をお願いします。

回答 現在の住宅は気密性が高いことや、集中豪雨の音でスピーカーから情報を得ることができません。

町では消防団、区長さんに防災無線で情報を伝え、広報車で広報活動を行います。また、登録された人にはメール発信もしています。皆様も情報を得る方法をあらかじめ確認していただき、身的安全にご留意ください。

(総務課)

困りものの イノシシ対策は

質問 農家で野菜づくりをしています。イノシシで困っています。電気柵が8〜10万円、箱わなも10万円かかります。無料貸し出しはできませんか。

回答 町では、イノシシ対策として、防護柵を設置する場合、10万円を限度として設置費用の2分の1を補助しています。

9月末現在で26件、合計139万6千円の補助金の申請を受け付けています。他にも、狩猟免許試験受験者用講習会の受講料補助や、イノシシ捕獲用箱わな購入経費の3分の1の補助なども準備しています。

(農政課)

西住地区に児童館 & 集会所の施設を

質問 西住地区に児童館と集会所を一緒にした建物を作ってほしいです。

回答 西住地区冠水対策完了後、建設及び合築の有無を含めて検討します。

(財政課)

白幡1丁目の 雨水対策を!

質問 榎木白幡1丁目は、道路冠水常襲地帯です。道路かさ上げや道路排水の対応はできませんか。

回答 本年度から榎木地区の雨水対策工事を行います。現在は榎木市街地の雨水が南浦排水路に流入する形になっています。新しい排水路を設けて稲荷山用水に排水すれば水位が下がり、白幡の雨水対策にもなると考えています。

(都市建設課)

榎木駅のコミュニティ プラザの使用料を安く

質問 榎木駅のコミュニティプラザをもっと安く、便利に借りられるよう改善できませんか。

回答 榎木駅コミュニティプラザの使用料は、1時間あたり、町外居住者及び町外企業は470円、町内居住者及び町内企業は310円となっています。また、申請は榎木事務所でも受け付けています。

(商工観光課)



一般懇談会 (柴田町保健センター)

平成 26 年 議会懇談会を開催を

財政破綻の危険は？

質問 柴田町の基金保有額は県内22町村中、最下位で、地方債発行額も多いです。夕張市のように、財政破綻の危険性はありますか。

回答 基金は現在15億円を越す状況です。財政調整基金の適正額は標準財政規模の10割とされており、問題はないと考えています。
(財政課)

国保税の割賦払い希望

質問 国民健康保険税を、割賦払いにできませんか。また、一時所得があった年は住民税が非常に高くなります。余裕を持った割賦払いにできませんか。

回答 国民健康保険税は、65歳以上の人は基本的に年金から引き落としになります。希望すれば口座振替が可能です。この場合は通常10回払いになります。

住民税は6月に税額通

知書を送付しています。これを早めることは、困難な状況です。(税務課)

大腸がん検診の試薬は変質しないの？

質問 大腸がん検診で、昨年まで1カ月前に届いていた試薬が、半年も前にきました。変質しないか心配だし、検診を忘れてしまいます。

回答 昨年度までは、行政区ごとの検診指定期間は、1カ月間として実施してきましたが、今年度は、7月から平成27年1月までの7カ月間の検診期間中であれば、受診できるようにして、6月に受診票を発送しました。

なお、検査試薬の変質はありませんので、安心して受診してください。今後も検診期間の見直しを図るように努めますので、ご理解、ご協力をお願いいたします。

(健康推進課)

空き家調査の結果連絡は？

質問 空き家の雑草が問題になり、地区で草刈りを行っていただきます。町からの依頼で空き家の調査をしました。結果連絡がありません。どうなっていますか。

回答 現在、空き家・空き地の台帳整備をしますが、まだ整理がついていない状況です。そのため報告ができていません。整理がつき次第、所有者などに文書で報告いたします。(町民環境課)

議論を深め、議会の活性化を

質問 議会の傍聴に行きましたが、同じような質問が多いです。同じであれば、問題を深めた方が住民のためになります。もっとやりとりを活性化しないと、傍聴していてもつまらないです。

回答 ご意見を真摯に受け止め、議員個人個人が研鑽に努めます。(議会)



一般懇談会では、託児も行います。

「一般懇談会」の参加者数

開催日	時間	開催会場	参加者数
平成 26 年 7 月 27 日	14:00~16:00	船迫生涯学習センター	13 人
	19:00~21:00	西住公民館	5 人
平成 26 年 8 月 2 日	14:00~16:00	槻木生涯学習センター	11 人
		柴田町保健センター	10 人
	19:00~21:00	船岡生涯学習センター	0 人
		農村環境改善センター	8 人
計			47 人

「一般懇談会」の質問・意見・要望の件数

項目	件数
地域づくりの課題に関すること	21 件
町政に関すること	49 件
議会に関すること	11 件
計	81 件

議会懇談会

団体懇談会

柴田町ボランティア・NPO 活動連絡会との懇談会は、9月24日に、柴田町地域福祉センターでボランティア活動をしている役員、NPO 活動団体の人など13人に集まっていただき、下のようなテーマで話し合いをしました。

日ごろの活動を紹介したり、運営上の課題などを出しあって、考えようという会になりました。

議員からの質問に対し、団体から回答されたものの一部を掲載します。

懇談テーマ1 後継者はいますか

後継者の育成は、会員が思っていることですが、難しいです。現在でも後継者がいなくて、2団体が休止中です。サークルに男性の参加者が少ないので、男性に声がけして参加を募っています。

懇談テーマ2 参加者を増やすことは

30、40代の参加者が少なく、60歳になつて参加されるのが大半です。年金をもらう65歳になつてから地域デビューをしようとする人もいますが、少し遅いと思います。せめて50代までには町内会やPTAの活動に参加してもらいたいです。地域にはボランティアの会に参加したいと思っ

ています。ティア活動であると考え

懇談テーマ3 運営のコツは

最初はレクリエーションから入り、楽しみを一番に考えています。東北福祉大学の講座を受けてもらい、その話を聞いた

懇談テーマ4 地域の役員は参加していますか

ティアもあるので、社協やボランティア連絡会とつながりながら運営することも大事だと思います。

3割の人は地域の役員を兼ねていますが、地域外から参加してリーダーになつている人もいます。

「柴田町ボランティア・NPO 活動連絡会」活動団体

「笑う門には福来る」

- 百笑長屋 ● 福祉劇団「鶴亀」 ● 柴田かたりべの会

「介護予防で自分も元気」

- わくわく元気応援クラブ ● 柴田玄米ダンベルサークル

「ダンス・ダンス」

- もみの木レインボーフラワーズ ● 柴田よさこい美翔連 ● 舞日楽園さくら組

「リズムに乗ってうたで元気に」

- 杉の子福祉コーラス ● 槻木歌謡愛好会 ● 西船迫カラオケ愛好会

「技を磨く」

- ふれあい手話サークル ● 朗読ボランティア「結」

「癒しのある時間」

- NPO 法人「きらら」(出張理美容) ● ビューティーケア仙南 ● 美優しばた

「イベント」

- 祭友会 ● ガールスカウト宮城第11団

「施設への協力」

- ふくしOBさくら会 ● さくら苑ボランティア ● こぶしの会 ● 槻木婦人学級OBさくら会 ● 個人登録ボランティア

「地域づくり」

- 民生委員児童委員連絡協議会 ● 柴田町さくらの会 ● 船岡婦人会 ● 槻木婦人会 ● 三名生婦人会 ● 更生保護女性会 ● 商工会女性部



柴田町ボランティア・NPO 活動連絡会との団体懇談会

● 今回の議会懇談会の報告書は、12月中旬頃に、開催会場の各施設へ配布します。また、町のホームページにも掲載しますので、閲覧ください。

議会からの指摘事項（所管事務調査報告書）

常任委員会レポート

各常任委員会は
各課の仕事を
調査しています。

総務 常任委員会

平成26年7月15日(火)～7月16日(水)



消防緊急通信指令施設

調査内容

- ◆空き家等情報登録制度（加美町行政視察）
- ◆仙南地域広域行政事務組合滞納整理課
- ◆仙南地域広域行政事務組合消防緊急通信指令施設

調査結果

- ★空き家対策については、有効活用の側面だけでなく、委員会活動を通して関係課に助言・提言できるように、検討していく。
- ★仙南地域広域行政事務組合滞納整理課は、早期回収を前提とした効率的な滞納処分に尽力している。
- ★障がい者向けの緊急通報システムの利用の際には、関係課及び関係機関と協力して普及促進に努めること。

文教厚生 常任委員会

平成26年6月18日(水)～6月19日(木)

調査内容

- ◆各生涯学習センター等の管理運営
- ◆町内中学校の管理運営

調査結果

- ★各施設の老朽化に伴い、設備の改善に努めること。
- ★各中学校から設備の老朽化による改修・交換や不便な設備等の変更の要望が数多くある。学校との意見交換を密接にし、教育環境の向上を図ること。



槻木中学校校長室

産業建設 常任委員会

平成26年6月19日(木)～6月20日(金)・7月24日(木)



町道富沢16号線道路改良工事の現場

調査内容

- ◆ほ場整備事業
- ◆山田沢高区配水場及び船迫配水場
- ◆第1回しばた紫陽花まつり
- ◆道路改良工事及び河川改修工事
- ◆鷺沼排水区5号調整池の設計概要の見直し

調査結果

- ★ほ場整備事業の推進のため、施設のマネジメントを含めた集落営農ビジョン作成の支援に尽力すること。
- ★配水場については、水道中央監視システムが老朽化しているため、計画的な更新に努めること。
- ★道路改良工事の施工に当たり、工事の安全はもちろん、交通安全に十分配慮すること。

あなたの一言



いりさわ ゆうき
入澤 裕樹さん
(船岡東4丁目在住)

未来へ向けて

●柴田町に住んで感じたことは？

関東から移り住んで今年で7年目になりますが、想像していたよりも雪が少なく、四季を通じて過ごしやすい気候だと思えます。

●柴田町で好きなところは？

自然が豊かなところです。こちらに来て間もない頃に、蔵王の残雪を背にした柴田大橋からの一目千本桜の壮観な光景には、大変感動しました。

●町に何を望みますか？

いろいろな年齢層が集まる町の体育・スポーツによる活性化を期待しています。新体育館建設予定地周辺が、スポーツ都市の拠点となり、スポーツの楽しさを追求でき、加えて競技力の向上につながることでできるような環境を整えてい

ただくことを望みます。

●議会だよりを読んでいますか？

新体育館建設に関する情報や、町の都市計画整備事業に関わることを目を通しています。

●議会、議員に望むことは？

スポーツ都市宣言をしている町として、仙台大学や体育科のある柴田高校が町内にあることを最大限活用することを望みます。スポーツが大好きな子どもの育成や、いつまでも若々しく過ごしていただくための高齢者の健康維持などがどの市町村よりも優れていれば、その新たな魅力に惹かれ、この町に住みたいという人や、住み続けたいという人も増えるのではないのでしょうか。

◆編集後記◆

季節も紅葉真っ盛り。そろそろ冬支度でしょうか。

私たち議会広報委員会7人は研修を重ねています。そこで常に言われることは、「読者が読みやすく、内容が的確に伝わる広報紙を目指してください」ということです。もちろん、私たちもそこにたどり着くべく編集に携わっています。

今回、この第146号を県の「議会広報クリニク」に提出し、評価をいただく予定です。その結果は、次号（2月1日発行）で皆様にお知らせいたします。

議会広報常任委員 平間 幸弘



このしばた議会だより146号は、約15,000部作成しています。1部当たりの経費は約37円です。

ぜひ、議会の傍聴を!! お待ちしております!

12月会議は
12月8日(月) 午前9時30分開会予定
一般質問は
12月8日(月)・9日(火)・10日(水)の予定
※詳しくは町議会事務局(☎55-2136)へお問い合わせください。

町ホームページ 本会議審議等結果 各種会議の出欠状況を掲載

町ホームページ内、「行政・まちづくり」の中の「町議会 議会だより」「議会のうごき」に、委員会・全員協議会の出欠状況を掲載しています。

柴田町議会

検索

柴田町議会のホームページもご覧ください